



# ひがしよし

学校通信 第6号  
令和3年6月18日(金)  
久留米市立東国分小学校  
校長 秀島 一生  
児童数 633名

## 5年生 田植え体験を行いました。

5年生は、本年度から社会科や総合的な学習の時間の学習を受けて、田植え体験を行うようにしました。昨年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のために、様々な活動が制限され、体験活動を十分行うことができませんでした。そこで、コミセンのご協力により、5年生の田植え体験を実現することができるようになりました。



田んぼに入って田植え体験

ダイレックスの裏あたりにある田んぼをお借りして、11日(金)の午前中に行いました。子どもたちは、初めての体験とあって、田んぼの土の感触や稲を手で植える大変さをしっかりと体験できたようでした。どの子どもも、学校では見せない生き生きとした表情で田植えを楽しんでいて、やはり体験することの大切さを実感したところです。また、子どもたちが、田植えを手伝っていただいた地域の方々へお礼のあいさつをした後、「礼儀正しく、とても立派なあいさつでしたね。」とお褒めの言葉もいただきました。

社会科の学習では、これから田植えが機械化されていることを学んでいきますが、1年間かけて大切に育てられる米づくりを実際に体験することは、子どもたちにとってとても貴重な体験となります。きっと、大人になっても記憶に残る体験になることでしょう。

秋には、収穫体験を行います。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、収穫したお米を家庭科の調理に使用することも考えています。勤労の大変さと収穫の喜びを実感できる学習にすることができたらと思います。どうぞ、楽しみにしててください。



玉ひもに含ませていないに



地域の方からのご指導

## 2年生 校区たんけんに行ってきました。

2年生は、生活科の「まちたんけんにいこう」の学習で校区内の公共施設や商店街など探検に行ってきました。子どもたちの生活範囲が、自分の家の近くから校区に広がりを持ち始める学年となり、自分の住んでいる校区と校区にある様々な施設で働く人々に親しみや関心を持つことをねらいとしています。



お店の人を見つけたよ



公園の名前の由来の話

校区には、郵便局や交番、公園といった公共施設や銀行、飲食店などくらしを支える商店などがたくさんあることに気づいていたようです。まだ、インタビューまではできませんでしたが、休みの日など「あっ、ここは来たことあるぞ。」と気づく子どももいるでしょう。この学習を通して、校区のよさに気づき、好きになってくれることを期待しています。

## 本年度のクラブ活動から

本年度のクラブ活動も始まっています。感染拡大防止のために、活動の制限もありますが、それぞれのクラブで工夫しながら活動しています。料理の代わりに手芸を楽しんだり、使う楽器を工夫して演奏したりとクラブごとに工夫が見られます。



手芸を楽しむ料理クラブ

4年生は、上学年の仲間入りとして、本年度からクラブ活動に参加しています。上級生からやり方を教えてもらったり、楽しみ方を一緒に考えたりと違う学年と一緒に活動する楽しさや難しさを学びます。年間で10回程度しかありませんが、子どもたちは、クラブ活動をとっても楽しみにしているようです。



外で元気にソフ・サッカークラブ

活動の様子では、自分の興味のあることや好きなことを友達と一緒にできることの心地よさや、学年の違う友だちが、一緒になって計画を立て、まとめていく上級生としての難しさを感じているようです。

クラブ活動で自分の楽しみを見つけて、仲間と楽しむことが、将来大人になってからの自分の趣味につながっていくものと思います。今後は楽しみです。